

## 「エコキッズ・アワー 平成25年9月7日」報告書

< 日 時 > 平成25年9月7日(土) 11:00 ~ 12:00

< 場 所 > FM きらら

< 番組名 > 「エコキッズ・アワー」

テーマ: 「対馬市へ行くスタディツアー」に参加して

パーソナリティー: 井上 和章 さん

< ゲスト > よねはら 米原あかり、にいはら 新原もも、さこだりんか 迫田凜花、はとべまい 鳩部真唯 様 (上宇部小学校5年生)

< 参加者 > UNCCA 藤井(文責)

< 内 容 >

8月20日(火)~22日(木)に開催した「平成25年度宇部市スタディツアー推進事業 対馬市へ行く 宇部市子どものためのスタディツアー」に参加した小学生12名を3グループに分け、出演していただいた。

第1回目となる、9月7日の放送では、上宇部小学校の女子生徒4名が出演し、井上パーソナリティーとのインタビューを楽しんだ。

対馬まで高速船ジェットフォイルに乗ったこと、舟志の森体験活動、棹崎海岸で国際漂着ゴミを見たことを中心にインタビューをすすめた。日頃からの仲良しグループそろっての参加だったため、友だちと3日間過ごしたことも楽しい夏休みの思い出になったようだった。韓国のアイドルグループが好きな4人は、韓国に一番近い島に行けた喜びと、いつか韓国に行ってみたい夢を話した。

井上パーソナリティーの「ツシマヤマネコについてどう思ったか」、の質問に、「人間の生活を大事にするか、ツシマヤマネコの生活を大事にするか、どっちをとった方がいいかが難しいと思った」と人と自然の共存の難しさについて学んだ感想を述べた。

最後に、全員が感想文を発表した。

出演中の上宇部小学校女子生徒たち



## 「エコキッズ・アワー 平成25年9月14日」報告書

< 日時 > 平成25年9月14日(土) 11:00 ~ 12:00

< 場所 > FM きらら

< 番組名 > 「エコキッズ・アワー」

テーマ: 「対馬市へ行くスタディツアー」に参加して

パーソナリティ: 永谷 青空 さん

< ゲスト > そのだりつや 園田律也 様 (常盤小6年)、いしむらまさたか 石村昌嵩 様 (黒石小5年生)、

わたなべこなみ 渡辺鼓波 様 (西宇部小5年)、きはらみずき 木原瑞貴 様 (西宇部小5年)

< 参加者 > UNCCA 藤井 (文責)

< 内容 >

8月20日(火)~22日(木)に開催した「平成25年度宇部市スタディツアー推進事業 対馬市へ行く 宇部市子どものためのスタディツアー」に参加した小学生12名を3グループに分け、出演していただいた。

第2回目となる、9月14日の放送では、親子でツアーに参加した4名が出演し、永谷パーソナリティとのインタビューを楽しんだ。

インタビューでは、初めて高速船に乗ったこと、対馬歴史民俗資料館でツシマヤマネコのはく製を見たこと、バーベキューで「対馬とんちゃん」が特に美味しかったことなどを話した。また、舟志の森で対馬の方から直接ガイドを受け生物多様性を学んだことや、国際ゴミが漂着する海岸を歩き、対馬が抱える環境問題について知ったことを発表した。

学校が違う男子生徒たちであったが、旅を通じ友だちになれたことの嬉しさも話してくれた。

最後に全員が感想文を発表した。

出演中の男子生徒



ツアーに参加した保護者4名



夏休みの自由研究  
に対馬を取り上げた、  
石村昌嵩くん



## 「エコキッズ・アワー 平成 25 年 9 月 28 日」報告書

< 日 時 > 平成 25 年 9 月 28 日 (土) 16:00 ~ 17:00

< 場 所 > FM きらら

< 番組名 > 「エコキッズ・アワー」

テーマ: 「対馬市へ行くスタディツアー」に参加して

パーソナリティー: 平山真紀子 さん

< ゲスト > となりこうた 戸成晃大 様 (西宇部小 3 年)、なかいゆうや 中井悠椰 様 (西宇部小 4 年生)、

むらのだいき 村野大樹 様 (黒石小 6 年)、かわはらかずま 河原壱磨 様 (黒石小 6 年)

< 参加者 > UNCCA 藤井 (文責)

< 内 容 >

8 月 20 日 (火) ~ 22 日 (木) に開催した「平成 25 年度宇部市スタディツアー推進事業 対馬市へ行く 宇部市子どものためのスタディツアー」に参加した小学生 12 名を 3 グループに分け、出演していただいた。

第 3 回目となる、9 月 28 日の放送では、保護者なしで参加した男子小学生 4 名が出演し、平山パーソナリティーとのインタビューを楽しんだ。

インタビューでは、ジェットフォイルが快適であったこと、バーベキューで食べた「対馬とんちゃん」が柔らかくて美味しかったこと、本物のツシマヤマネコがイエネコと違う特徴を持ち、かわいかったことなどを話した。舟志の森では、イノシシを捕まえる檻を見たことや、センサーで反応するカメラを使い、対馬の人がツシマヤマネコの生態を調べていることを発表した。

また、国際ゴミが漂着する海岸では、海外からのゴミだけでなく日本のゴミもあり悲しかったと感想を述べた。学校が違う男子生徒たちであったが、旅を通じ友だちになれたことの嬉しさも話してくれた。最後に全員が感想文を発表した。

出演中の男子生徒たち



保護者とパーソナリティーも一緒に

